

消化器内科① インフリキシマブ療法

☆適応疾患名：潰瘍性大腸炎、クローン病

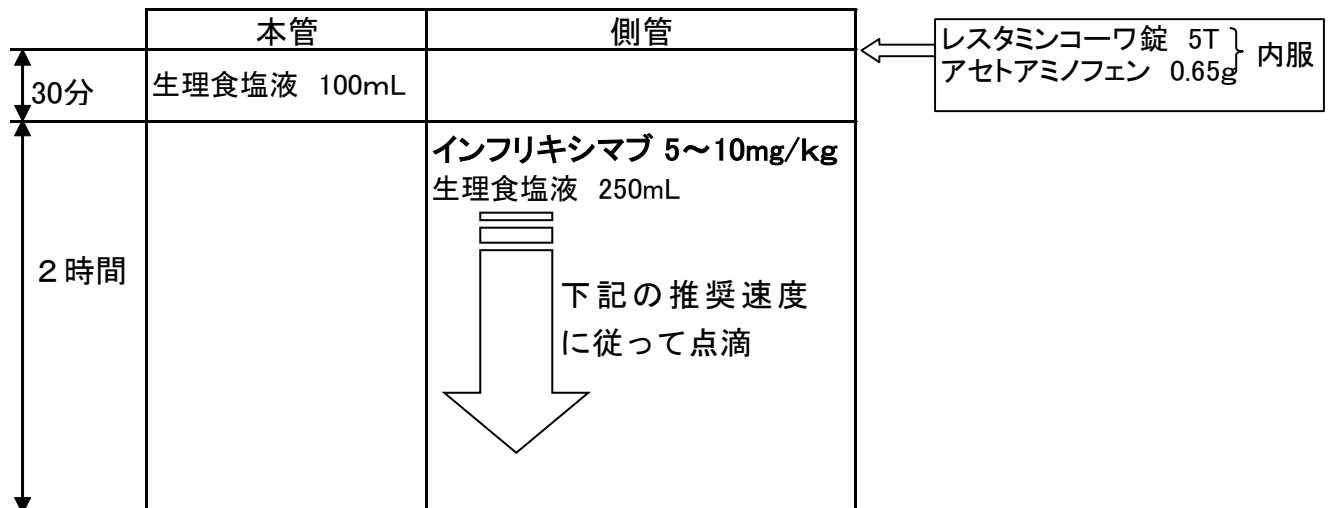
◎初回投与もしくは投与時間関連の副作用の経験がない場合に限る

薬剤	標準投与量	投与方法
インフリキシマブ	5mg/kg	点滴静注

※クローン病のみ10mg/kgまで増量可

インフリキシマブ：インフリキシマブBS点滴静注用100mg

プレメディケーション：インフリキシマブ投与30分前に レスタミンコーワ錠 5T, アセトアミノフェン0.65g を内服
--



【推奨点滴速度】

速度 (mL/hr)	10	20	40	80	150	250
時間(分)	15	15	15	15	15	30

注意：初回、2週後、6週後の投与時に投与時間関連の副作用がない場合は、
「投与時間短縮インフリキシマブプロトコール」にしたがって投与できる。

【注意事項】

- ・ バイタルサインは、体温・脈拍・血圧・SaO₂をモニタリングする。
(原則、体温測定のみ開始前と終了安静 30 分後に行う)
- ・ 状態観察を15分毎に行い、バイタルサイン共に異常なければ推奨速度に従って薬剤投与を行う。
- ・ 投与速度 250mL/h にアップ後、異常なければ終了し抜針して 30 分後にバイタルサインと状態観察を行う。

投与時間短縮インフリキシマブプロトコール

※初回、2 週後、6 週後の投与で副作用がない場合に限る

☆初回、2 週後、6 週後の投与で投与時間関連の副作用の経験がない場合

点滴開始前にレスタミンコーワ錠 10mg 3-5 錠、po または、ポララミン注 5mg 1A、iv、もしくはアセトアミノフェン 650mg、po(再投与の場合のみ)の投与も考慮



次の推奨速度に従って点滴

★点滴時間 60 分(インフリキシマブ 5mg/kg 以下)

速度 (mL/hr)	80	300
時間(分)	15	45

投与 15 分後、30 分後、60 分後(終了時)にバイタルチェック

★点滴時間 90 分(インフリキシマブ 5mg/kg 超、7.5mg/kg 以下)

速度 (mL/hr)	40	80	220
時間(分)	15	15	60

投与 15 分後、30 分後、90 分後(終了時)にバイタルチェック

★点滴時間 120 分(インフリキシマブ 7.5mg/kg 超)

速度 (mL/hr)	40	80	140
時間(分)	15	15	90

投与 15 分後、30 分後、120 分後、(終了時)にバイタルチェック



投与 30 分後にバイタルチェックと問診

- ・ バイタルチェックは、体温・脈拍・血圧・SaO₂をモニタリングする。
(原則、体温測定のみ開始前と終了安静 30 分後に行う)
- ・ 状態観察を規定時間に行い、バイタルチェック共に異常なければ推奨速度に従って薬剤投与を行う。
- ・ 点滴終了後に異常なければ終了し抜針して 30 分後にバイタルチェックと状態観察を行う。
- ・ 時間短縮投与を行っている患者がレミケードからインフリキシマブ BS に変更する場合、一旦 120 分へ投与時間を戻し、異常がなければ再度時間短縮投与を行ってもよい。